

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	富士見市
②人口（※１）	１０６，４７２名（ ）
③高齢化率（※１） （６５歳以上、７５歳以上それぞれについて記載）	６５歳以上 ２２．０％（ ） ７５歳以上 ８．７％
④取組の概要	町会の地域の方々や金融機関、商店、その他関係機関に協力を依頼し、また日々の動きのある新聞・電気・ガスなどの事業者からも、住民の心配な様子に気づいたら地域包括支援センターや市役所に連絡をもらい、早期に支援につなげる支えあいのまちづくりをすすめている。また、一人暮らし高齢者でサービスなどにつながっていない心配な様子の方については、看護師が定期的に見守り訪問を行なっている。
⑤取組の特徴	協力者には見守りネットワークのステッカーを掲示してもらい、地域への周知も図っている。 医療の知識のある看護師が定期的に訪問することで関係がとれ、支援が必要な状況を適時判断し包括へつないでいる。
⑥開始年度	平成２２年度
⑦取組のこれまでの経緯	関係機関の代表には市から説明を行い、各地域包括支援センターが地域の商店などを訪問したり、町会の会議などに出席し主旨を伝え、協力の依頼をしてきた。その結果、協力機関からの相談や連絡が増えている。
⑧主な利用者と人数	協力団体 １６機関 １０事業者 協力店など １３７ヶ所 協力者 ４０８名
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	各地域包括支援センター
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	広報・ホームページ掲載 地域包括支援センターからの相談に対する対応 看護師雇用
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	高齢者と地域のつながり再生事業補助金（見守りステッカー作成費用 １，７６８，２００円） 地域支援事業 任意事業（看護師雇用 １，３１６，０００円）
⑫取組の課題	主旨を説明するために直接伺っているが、理解を得られない事業所も多く、地域へ広がりを作っていくには時間がかかる。 心配な様子の高齢者の連絡だけでなく、認知症の方の対応で困った時に包括で対応してほしいと連絡が来ることも増えた。
⑬今後の取組予定	継続して活動していく。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	健康福祉部高齢者福祉課地域支援係 Tel ０４９－２５２－７１０８

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。